

広陵中だより



学校の教育目標
～ひびき合い 高め合う生徒～

発行所; 可児市立広陵中学校

第5号 発行日; 令和7年7月18日

「人権と命を大切にする学校」「明日も来たくなる学校」「笑顔溢れる学校」

校長 桂川 辰也

広陵中学校の笑顔のもととはたくましさ。自分を鍛え高めることは素晴らしいことです。しかし、笑顔が出るのは「安心感」という土台があってこそではないでしょうか？皆さん一人ひとりが他人に安心感を与えられる人であれば、広陵中学校の笑顔はさらに増えると思います。始業式でこのような挨拶をしたのがつい先日のように感じますが、もう明日は夏休みです。あっという間の4か月でしたが、安心感や笑顔につながる姿をたくさん見ることができました。紙面の都合上、一部しか紹介できませんが広陵中学校の宝物です。

① 毎朝のあいさつがくれる「安心感」

「おはようございます」「熱中症にならないでくださいね」「お疲れ様です」「ありがとうございます」。4月から、草刈りをしながらできる限り登校の様子を見てきましたが、生徒だけでなく、保護者や地域の方々からもたくさんの声をかけていただきました。スピードを落として車の窓から声をかけてくださる方、大きく手を振ってくださる方、50m手前から元気にあいさつしてくれる生徒。朝から本当に嬉しい気持ちにさせてもらっています。この日々のやり取りが、私の安心感と笑顔の源です。一緒に活動してくれる生徒まで出てきました→



② 中体連に見た「成長」

2回戦で敗れ、悔しい思いをした女子バスケットボール部の3年生が、大会明けの月曜日「土曜日はわざわざ応援に来ていただきありがとうございました」と昼休みに校長室を訪ねお礼を言ってくれました。また、団体戦で敗れた男子テニス部の親子と大会翌日にホームセンターで偶然出会いました。そこでも「昨日はお休みのところをわざわざ応援に来てくださってありがとうございました」と丁寧に声をかけてくださいました。勝ち負けや技術だけではない、人として大切なことを彼らは学んでいます。だからこそ、心から応援したいと思えるのです。

③ 粋な「暇つぶし！」



毎月1回「エール広陵」の草刈り作業が予定されています。それとは別に、平日時間を見つけて環境整備に来てくださるエール広陵の方がいます。先日も、猛暑の中4日連続で作業していただきましたが、毎回言われるのは「暇つぶしに来たよ」の一言。恩着せがましい言葉は一切なく、黙々と作業して帰られる姿に、深い感謝と尊敬の気持ちを抱きます。

多くの人の優しさや思いやりに支えられ、広陵中学校は「安心感」と「笑顔」溢れる場所であり続けています。明日から夏休みに入りますが、これから先もこの日常のありがたさを忘れず「笑顔溢れる学校」づくりを続けていきたいと思います。